

# 伊賀の国 名張市観光ガイドマップ

**体験するん♪** **自然に癒されるん♪**

**歴史にふれるん♪** **なばりをめぐるとなばるんマップ**

**食べるん♪** **なばり**

**なばり**

なばりめぐるとなばるんマップ

## 日本の滝百選 赤目四十八滝 B-6

都会の喧騒を離れて 緑の中を散策するには ぴったりの赤目四十八滝。

**自然を満喫するん♪**

**香落溪 C-5-6**  
名張川の支流、青蓮寺川に沿って、斧で断ち切ったような柱状節理の岩壁が約8km続きます。春には山桜やツツジが咲かれ、やがて木々のカラフルな芽生えで爽やかな緑に覆われていきます。秋には、全山が燃え立つような紅葉に彩られます。  
【アクセス】名張駅→三重交通バス「紅葉谷」等下車  
【名張市観光協会】0595-63-9087

**千手滝**  
遊歩道が約4kmにわたって続き、大小無数の滝が次々に現れる様は、まさに滝絵巻と称される美しさ。「赤目五瀑」と呼ばれる不動滝、千手滝、布曳滝、琵琶滝、荷担滝（表紙）など特徴ある滝が楽しめます。森林浴の森 日本100選、遊歩道などにも選ばれています。入山口にある日本サンショウウオセンターには、赤目生まれのオオサンショウウオをはじめ、国内産を中心としたサンショウウオ8種約50匹を展示しています。

**青蓮寺湖 C-4-5**  
周りを山々に囲まれた青い湖面には、四季を通じて美しい風景が映し出されます。湖畔周辺には公園やテニスコートも。パークウォッチングやスフィッシングなども楽しめます。  
【アクセス】名張駅→三重交通バス「青蓮寺湖前」下車  
【名張市観光協会】0595-63-9087

**布曳滝**  
透明で澄んだ水は、平成の名水百選にも選ばれているよ。

**不動滝**  
【アクセス】赤目口駅→三重交通バス「赤目滝」下車  
4月～11月/8:30～17:00  
12月～3月/9:00～16:30  
12月28日～31日、1月～3月2週末までの木曜日  
大人400円、小人200円  
（入山料/日本サンショウウオセンターの入場料を含む）  
【赤目四十八滝深谷探勝会】0595-63-3004

**結柱滝**  
【赤目滝】検索

## 温泉に癒されるん♪

湯元「山の湯」赤目山水園 B-5

天然ラドン含有率が高く、肌がスベスベになると好評です。和の情緒豊かな内湯と露天風呂、露天付家族風呂があります。  
【効果】神経痛、疲労回復、アトピー他  
☎0595-63-1034

**赤目温泉「隠れの湯」対泉閣 B-6**  
赤目四十八滝まで徒歩5分。地元産の杉材を使った大浴場と、回廊を渡った先にある深谷美を愉しめる露天風呂。しっとりなめらかな湯上りさばりの美しい湯です。  
【効果】神経痛、筋肉痛、疲労回復他  
☎0595-63-3355

**香落溪温泉「名香の湯」青蓮寺レークホテル C-4**  
露天風呂から眼下に青蓮寺湖が見渡して開放感たっぷり。景色透明で肌触りもさざりとした美しい美肌の湯です。  
【効果】美肌効果他  
☎0595-63-6211

**癒しの里 名張の湯 名張希央台温泉 C-3**  
広々とした露天風呂や高層度炭酸泉風呂など、様々な趣向を凝らした浴槽をはじめ、大型露天浴やレストラン、ボウリングなど付帯施設も充実。  
【効果】神経痛、筋肉痛、疲労回復他  
☎0595-28-5526

**旧細川邸やなせ宿 B-4**  
初瀬街道の宿場町として栄えた面影が残る国の登録文化財。名張市街地を訪れる人々の観光交流拠点として改修し、ワンデイレストランや各種施設が併設され、まちなかの散策に役立つ情報も揃います。  
☎9:00～17:00  
休 月・木曜日（祝日の場合は翌日）と年末年始  
※ レンタサイクルがあります。1台400円（1日以内・営業時間内>のご利用）  
☎0595-62-7760

**名張藤堂家邸 B-4**  
名張藤堂家は、藤堂高虎の養子となった高吉（丹羽長秀の三男）に始まります。現在の屋敷は宝永7（1710）年の名張大火後に再建された屋敷の一部ですが、現存する数少ない上級武家屋敷であり、当時の武將の生活を垣間見ることが出来ます。  
☎9:00～17:00  
休 月・木曜日（祝日の場合は翌日）と年末年始  
※ 大人200円、高校生100円、小中学生無料  
※ 名張藤堂家邸+夏見庵展示館 共通入場券300円  
☎0595-63-0451

**歴史を探訪するん♪**

**観阿弥ふるさと公園 D-3**  
能楽大成者 観阿弥は妻の出生地である名張。小波田で初めて藤原家（後の観世座）をたてたいわれています。小波田には観阿弥ふるさと公園があり、毎年11月には「観阿弥祭」が開催され、能楽愛好家による狂言や、地元の子どもたちによる狂言などが演じられています。

**江戸川乱歩生誕地碑 B-4**  
日本の探偵小説の父、江戸川乱歩は、明治27（1894）年、名張の町で誕生。生後まもなく転居したため、私的にとって名張は「見知らぬふるさと」であり続けたが、晩年になってようやく「ふるさと発見」が果たされ、昭和30（1955）年に名張市民の手で「江戸川乱歩生誕地」碑が建立されました。

**伊賀ノ井松明調進行事 B-5**  
奈良東大寺二月堂で行われる修二会（お水取り）に用いられる松明木を納める伊賀ノ井松明調進行事。極楽寺において750年以上続く行事で、当時の様子を垣間見ることが出来る。最大規模の馬塚（野真）をはじめ、殿塚、毘沙門塚、女塚など、大小7基の古墳が点在。美旗古墳群は古墳を巡るハイキングコースとしても人気です。（一般参加可）

**美旗古墳群 D-2-3**  
美旗古墳群は国の史跡に指定されていて、4世紀から6世紀にかけて築かれたと考えられています。最大規模の馬塚（野真）をはじめ、殿塚、毘沙門塚、女塚など、大小7基の古墳が点在。美旗古墳群は古墳を巡るハイキングコースとしても人気です。（一般参加可）

## なばりの四季を楽しむん♪

**春**  
2月11日、3月10日・12日 伊賀ノ井松明調進  
東大寺二月堂のお水取りに使う松明を寄進する伝統行事。3月12日には東大寺へ松明を運びます。（一般参加可）  
☎ 極楽寺 0595-63-3004

3月最終日曜  
「春の赤目四十八滝参り」入山者安全祈願法要  
行者の修験場でもあった赤目四十八滝で、みそぎ・火渡などの修行山伏先達のもと、執り行われます。（一般参加可）  
☎ 赤目四十八滝 0595-63-3004

3月下旬～4月上旬 名張桜まつり  
桜の開花にあわせ、名張中央公園の桜並木の園内道路が参行者天国に。園内約800本のピンクのトンネルは圧巻。  
☎ 名張中央公園 0595-63-3004

**夏**  
6月～8月 鮎友釣り  
☎ 名張川、青蓮寺川、長瀬、太郎生川

7月20日 青蓮寺湖観光村ぶどう狩りスタート  
7月24日以降の直近土曜日 名張川納涼花火大会 B-4  
「豪火の祭礼」の光明の川流りを含め約5,000発の花火が名張川新町河原を彩ります。

**秋**  
10月最終土・日曜日 名張秋まつり  
名張の市街地に、みこやだんじりなどが繰り出します。宵宮には、提灯行列や、獅子舞の奉納もあります。  
☎ 宇流富志神社 0595-63-3004

11月上旬～下旬 赤目四十八滝紅葉ライトアップ  
七色に灯る明かりが、深谷のみもじを照らし出し、揺らめく竹灯籠と青く光る滝の灯りとともに幻想的な空間を演出します。☎ 赤目四十八滝 0595-63-3004（※ 夏や冬にも同時期のライトアップやキャンドルナイトを開催）

11月第1日曜日 観阿弥祭  
仕舞や地元の子どもたちによる狂言などが奉納されます。  
☎ 観阿弥ふるさと公園 D-3

10月中旬～11月中旬 土・日曜日 隠街道市  
物産展、隠街道手作り市、フリーマーケットなどで名張の市街が盛り上がります。

11月上旬～中旬 とれたて！なばり  
名張の秋の味覚や自慢の農産物などがずらりと並びます。  
☎ 名張市役所 0595-63-3004

**冬**  
1月3日 青蓮寺湖観光村いちご狩りスタート  
2月7日・8日 八日戎  
名張に春と福を呼ぶ風物詩。七福神が町へ繰り出すほか、海の幸と山の幸の物々交換がここのりはまぐりの市が多くの商店とともに立ち並びます。  
☎ 蛭子神社 0595-63-3004

宿泊や飲食店などの情報は名張市観光協会までお気軽にお問い合わせ下さい

お問い合わせ先  
三重県名張市 観光交流室  
〒518-0492 三重県名張市鴻之台1-1  
☎ 0595-63-7648 ☎ 0595-63-9087  
✉ kankou@city.nabari.mie.jp  
http://www.city.nabari.lg.jp

一般社団法人 名張市観光協会  
〒518-0713 三重県名張市平尾 3225-10  
☎ & ☎ 0595-63-9087  
✉ info@kankou-nabari.jp  
http://www.kankou-nabari.jp/

名張市観光大使 代理 チヤン 鈴ちやん

## ステキな体験 名張で思い出づくりん♪

**忍者の森 B-6**  
古くは約1,300年前、修験道の祖・役行者が修行したと伝わる赤目四十八滝。戦国時代には、伊賀流忍者の祖とされる百地五太夫が弟子たちとともに日々鍛錬に励み、多くの忍者を輩出しました。そんな伝説の地に「忍者の森」では、本格的な忍修行アトラクションが体験できます。  
☎ 10:30～13:30 ※90分程度（要予約）  
☎ 12月28日～1月2日、1月3日～3月14日の水曜  
※ 大人2,000円、子ども1,750円、幼児1,550円（各服装要付、赤目四十八滝入山料含む）  
☎ 赤目四十八滝エコツアードデスク ☎ 0595-64-2695 【忍者の森】検索

**エコツアー**  
赤目四十八滝周辺の大自然を舞台に、「滝に打たれて自分をみがくECOツアー」や「赤目深谷源流冒険ツアー」「ちびっこわくわく体験ECOツアー」「絶景パノラマ紅葉ハイキング」などのエコツアーを随時開催。  
☎ 赤目四十八滝エコツアードデスク ☎ 0595-64-2695 【赤目 エコツアー】検索

**隠町和菓子の食べ歩きプラス B-4ほか**  
この和菓子が目印です。  
1冊600円のチケットでお好きな5店舗を食べ歩き！  
ひやわん

**隠ボランティアガイド「おきつも」**  
住民自らが、得意分野で町並みや歴史をテーマにご紹介。その「もてなしの心」にあふれた案内が好評を得ています。（要予約）  
・なばり町散策コース [1時間～2時間]  
・美旗古墳群コース [1時間～3時間]  
※ 見学時間、希望場所などございましたらご連絡下さい。コース設定をさせて頂きます。  
☎ (一社) 名張市観光協会 ☎ 0595-63-9087

**赤目四十八滝キャンプ場 B-6**  
赤目四十八滝から流れ出る滝川の河畔にあるキャンプ場。宿泊だけでなく、バーベキューなどのデイキャンプの利用もOK。貸出テントや各種キャンプ用品もあります。  
☎ 4月1日～11月30日（要予約）  
☎ 水・木曜日  
※ 祝日、4/28～5/6、7/1～9/16は除く  
※ 大人400円、小中学生200円（入場料）  
☎ 0595-63-9666

**青蓮寺湖観光村 C-4-5**  
青蓮寺のほとりにある味覚狩り体験施設。1月～5月は甘くてジューシーないちご狩り、7月～10月はぶどう狩りのシーズン。ぶどう狩りは食べ物・飲み物の持ち込みOK。一日のんびりくつろぎます。  
【ぶどう狩り】  
☎ 7月20日～10月31日  
☎ 9:00～17:00（期間中無休）  
【いちご狩り】  
☎ 1月3日～5月31日  
☎ 9:30～16:00（期間中無休）  
☎ 青蓮寺湖ぶどう組合 ☎ 0595-63-7000  
【青蓮寺 ぶどう】検索

**伊賀焼体験 B-4**  
サンショウウオの箸置きや湯呑、茶碗などの作品作りを体験できます。  
☎ 10:00～16:00  
※ 不定休（要予約）  
¥1,000円～  
☎ 名張市真曲中村1292-3  
☎ 伊賀まちかど博物館  
伊賀焼 高元 龍秀庵  
☎ 090-3458-6258  
伊賀まちかど博物館 検索

**歴史影絵劇 B-4**  
「劇団ふたり」として観しつづけてきた「おきつも」のかけがえのない人気が！  
忍者が江戸川乱歩など名張ゆかりの歴史文化を織り込んだ数々の「歴史影絵劇」を演劇造りの特設舞台上で上演します。

**伊賀酒**  
乾燥寒冷になる伊賀盆地の冬の気候は、酒造りに最適。良質の伊賀米と伊賀盆地を囲む山々からこんこん湧き出る清水でつくられる伊賀の酒は、低温でじっくりと発酵させることによって、芳醇でソフトな味わいになります。

**名張牛汁**  
生産地だからこそできる、質実な伊賀牛の食し方。あっさりとした和風しょうゆだに、伊賀牛の旨みや地元野菜の甘みが溶け出します。赤目四十八滝周辺など市内をほらほら伊賀地域の約20店舗でいろいろな味が楽しめます。  
この赤いのが目印です。

**伊賀米**  
味・香り・粘りの三拍子そろった伊賀米。日本穀物検定協会の食味ランキング最上位の「特A」の評価も得ています。美味しさの秘密は、昼夜の気温差が大きい盆地特有の気候、古くは肥田土の堆積、澁川水系源流の清らかな水など、伊賀盆地の米作りに適した自然環境にあります。

**かたやき**  
「かたやき」は忍業と呼ばれ、その昔、伊賀忍者の携帯食でした。日持ちがするので合戦地では優秀な保存食として重宝されてきました。原料は小麦粉、砂糖、胡麻など。ほどよい甘さと香しい香り、歯ごたえのある素朴な伊賀を代表する銘菓です。

**名張の特産品が揃います！**

## 特産品に古っづみん♪

**伊賀牛**  
豊かな香り、柔らかな肉質、あっさりとした甘みのある脂身が特徴の伊賀牛。清らかな水と盆地特有の寒暖差のある気候は、肉の肥育にも適しています。生産された肉の約8割が伊賀地方で消費されていて、伊賀の外ではなかなかお目にかかれません。

**伊賀米**  
味・香り・粘りの三拍子そろった伊賀米。日本穀物検定協会の食味ランキング最上位の「特A」の評価も得ています。美味しさの秘密は、昼夜の気温差が大きい盆地特有の気候、古くは肥田土の堆積、澁川水系源流の清らかな水など、伊賀盆地の米作りに適した自然環境にあります。

**伊賀酒**  
乾燥寒冷になる伊賀盆地の冬の気候は、酒造りに最適。良質の伊賀米と伊賀盆地を囲む山々からこんこん湧き出る清水でつくられる伊賀の酒は、低温でじっくりと発酵させることによって、芳醇でソフトな味わいになります。

**名張牛汁**  
生産地だからこそできる、質実な伊賀牛の食し方。あっさりとした和風しょうゆだに、伊賀牛の旨みや地元野菜の甘みが溶け出します。赤目四十八滝周辺など市内をほらほら伊賀地域の約20店舗でいろいろな味が楽しめます。  
この赤いのが目印です。

**かたやき**  
「かたやき」は忍業と呼ばれ、その昔、伊賀忍者の携帯食でした。日持ちがするので合戦地では優秀な保存食として重宝されてきました。原料は小麦粉、砂糖、胡麻など。ほどよい甘さと香しい香り、歯ごたえのある素朴な伊賀を代表する銘菓です。

**名張の特産品が揃います！**

**まちの駅なばり「とれたて名張交流館」C-3**  
伊賀米や伊賀酒、伊賀牛、新鮮な農産物など名張の地産品を販売。併設の「癒しの里 名張の湯」でのんびりと過ごすこともできます。  
☎ 9:00～18:00（11月～3月10:00～18:00）  
休 年末年始 ☎ 0595-62-1755